



2025年8月8日

各位

会社名 ジャパンクラフトホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 堀 孝子  
(コード番号：7135 東証スタンダード・名証プレミア)  
問い合わせ先 常務執行役員 企画部長 若園 和章  
(TEL 052-725-8815代表)

## 2025年6月期通期連結業績予想値と実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2024年8月8日付の「2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表した2025年6月期の通期業績予想値と実績値の差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2025年9月26日開催予定の第4期定時株主総会に、2025年6月30日を基準日とする剰余金の配当に関する議案を付議することを決議しましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想値と実績値との差異

(1) 2025年6月期 通期連結業績予想値と実績値との差異 (2024年7月1日～2025年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2024年8月8日発表)	百万円 14,500	百万円 80	百万円 20	百万円 △120	円 銭 △3.21
実績値 (B)	14,045	65	4	△257	△6.91
増減額 (B - A)	△455	△15	△16	△137	
増減率 (%)	△3.1	△18.8	△80.0	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年6月期)	15,393	△1,592	△1,665	△2,091	△68.62

#### (2) 理由

当社は、2025年6月期の営業黒字化に向けて、2024年6月期に小売事業を中心とした構造改革による不採算店舗の閉鎖等を遂行し、固定費の大幅削減を進めるとともに、新たなビジネスモデル確立に向けて、B to B事業の展開に取り組みました。これらの構造改革が結実し、2025年6月期は営業黒字化及び経常黒字化を達成できたものの、B to B事業で当初見込んでいたホームセンターへの商品提案等が計画通り進捗しなかったこと等が影響し、売上高、営業利益及び経常利益は当初計画を下回る結果となりました。また、会計基準に基づきシステム投資を減損損失計上したことから、当期純損失につきましても当初計画を下回る結果となりました。

## 2. 剰余金の配当

### (1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2024年8月8日)	前期実績
基準日	2025年6月30日	同左	2024年6月30日
1株当たり配当金	3円00銭	同左	0円00銭
配当金の総額	112百万円	—	—
効力発生日	2025年9月29日	—	—
配当原資	その他資本剰余金	—	—

(注) 純資産減少割合 0.028%

### (2) 理由

当社は、2022年の設立以来、3期連続で営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上してきたことから、配当を見送ってまいりましたが、前記のとおり、構造改革により収益構造が大幅に改善した結果、当連結会計年度末において営業損益及び経常損益の黒字化を達成いたしました。しかしながら、最終損益は赤字であり、本来であれば利益還元はできないものの、財務状況ならびに配当を見送ってきた過去3期の株主の皆様の変わらぬご支援にお応えすること等を総合的に勘案し、その他資本剰余金を配当原資とし、期初の計画通り期末配当を実施することが相応しいと判断いたしました。

上記の考えのもと、2025年6月期の期末配当金につきましては、その他資本剰余金のうち112百万円を原資とし、計画通り1株当たり3円00銭の配当を行う議案を付議することを本日開催の取締役会において決議いたしました。

なお、今後は当社の配当方針の原則に基づき、収益状況や配当性向等を総合的に勘案したうえで利益還元を行ってまいります。2026年6月期の配当予想につきましては、期末配当として1株当たり3円00銭といたしました。

以上